

令和7年度 盛岡市出資等法人 経営評価シート

1 法人の概要

法 人 名	株式会社もりおかパークマネジメント		所 管 課	公園みどり課	
所 在 地	〒020-0803 盛岡市新庄字下八木田60番地18				
電 話 番 号	(019)-654-8266		設 立 年 月 日	令和1年7月8日	
代 表 者	代表取締役 加藤 彰 <input type="checkbox"/> 常 勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤		<input checked="" type="checkbox"/> 市OB	<input type="checkbox"/> 市現職	<input type="checkbox"/> その他
設 立 目 的	都市開発事業、民間都市開発事業、観光開発及び産業振興事業に関する各種調査、研究、企画立案およびコンサルタント業務、動物園に関する経営及び運営等				
主 要 事 業	① チケット販売、駐車場管理 ② 動物飼育及び治療 ③ 動物導入搬出及びブリーディングローン、動物の各種庁舎及び研究 ④ 事業の関連物品の販売、イベント企画・運営				

具体的な取組目標

成果指標名		単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
①	入園者数	人	計画	80,000	180,000	180,000
			実績	64,337	177,262	132,732
②	開園日数	日	計画	53	296	290
			実績	37	264	290
③	物販・飲食事業収入	千円	計画	11,505	24,883	55,965
			実績	24,489	55,108	41,537
④	催し物事業収入	千円	計画	2,586	7,604	13,787
			実績	5,482	14,935	12,748

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 每年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

2 法人の経営内容の詳細

(1) 目的適合性(公益性)

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 設立目的	1	法人は、設立目的に沿った活動を行っている。	<input type="radio"/>	
	2	全ての事業内容が、設立目的または趣旨にしたがって展開されている。	<input type="radio"/>	
	3	現在の社会経済情勢の下でも、法人の設立目的や事業には公益性が認められる。	<input type="radio"/>	
	4	法人を取り巻く社会経済状況は、設立当初から大きな変化はない。		<input type="radio"/>
2 代替性	5	民間等(株式会社の場合、他の事業者等)において、代替が可能な類似の事業が行われていない。	<input type="radio"/>	
	6	現在の事業量は、最大時の事業量と比べて著しく減少していない。	<input type="radio"/>	
	7	法人が事業を廃止すると、事業の実施する事業者がまったくなくなり、市民が不利益を被る。	<input type="radio"/>	
3 市の施策推進における役割	8	法人の活動は、関連する市の政策、施策に結びついている。	<input type="radio"/>	
	9	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人の役割が規定されている。	<input type="radio"/>	
	10	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人が実施する事業の施策上の役割、方向が規定されている。	<input type="radio"/>	
合計			9	1

・評価コメント

目的適合性(公益性)について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての評価及び関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] 地球環境の持続可能性の危機が呼ばれる折柄、動物園の四つの役割(「種の保存」「教育・環境教育」「調査・研究」「レクリエーション」)は近年その重要性が増しており、公益性はいささかも減じておりません。また、地球温暖化に起因する地球規模の災害から市街地に出没する野生動物の対応に至るまで、動物園が担うべき自然科学の振興の重要性も増加しております。当社も微力ながら、引き続きその振興に貢献することを希望します。
	[方策] 当初より展示動物及び園内の自然を使用した教育普及活動を行ってきたところであり、より多くのお客様にご利用いただけるよう、コンテンツの充実・無償広告の実施等を行い、来園動機の涵養に努めてまいります。
所管課	[評価及び関与のあり方] 社会教育施設の役割についての理解・意識は非常に高く、法人が指定管理を受けている動物公園の事業理念は国内で評価を得ているところである。引き続き社会教育施設として質の高い展示・情報発信を行うための指導・助言を適宜行う。

(2) 計画性

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 経営基本方針	1	経営基本方針を策定している。	<input type="radio"/>	
	2	経営基本方針の内容は、簡潔明瞭である。	<input type="radio"/>	
	3	経営基本方針には、法人の存在理由が規定されている。	<input type="radio"/>	
	4	経営基本方針について、経営陣が全ての役職員に周知している。	<input type="radio"/>	
	5	経営基本方針は、全ての役職員に浸透している。	<input type="radio"/>	
	6	全ての役職員が、経営基本方針に従った行動をとっている。	<input type="radio"/>	
2 中長期経営計画	7	具体的な指標に基づく中長期経営計画を策定している。	<input type="radio"/>	
	8	中長期経営計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行って	<input type="radio"/>	
	9	中長期経営計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、分析結果に基づき業務改善を議論する仕組みがある。	<input type="radio"/>	
	10	中長期経営計画と実績についての分析結果を中長期計画の見直しに反映させている。	<input type="radio"/>	
	11	中長期経営計画と実績についての分析結果に基づき、計画を達成するための具体的な業務の改善策を実施している。	<input type="radio"/>	
3 年次事業計画	12	年次ごとの事業計画を策定している。	<input type="radio"/>	
	13	年次事業計画と実績について分析し、分析結果を次年度以降の事業計画や中長期経営計画に適切に反映させる仕組みとなっている。	<input type="radio"/>	
	14	年次事業計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行って	<input type="radio"/>	
	15	年次事業計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、議論する仕組みがある。	<input type="radio"/>	
	16	年次事業計画と実績についての分析結果に基づき、具体的な業務の改善策を実施している。	<input type="radio"/>	
4 経営環境の把握	17	法人の経営資源の長所、短所を把握し、法人の活動に反映させている。	<input type="radio"/>	
	18	外部経営環境(事業に関わる社会経済の動向・法令等の動きなど)を把握している。	<input type="radio"/>	
合計			18	0

・評価コメント

計画性について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	【現状と課題】設立時に作成した中期計画はリニューアルを中心に組み上げたものであり、令和5年度には一旦の節目を迎えたことから、令和6年度に情勢の変化も加味して改めて経営コンサルとともに5か年計画を策定したところです。今後はこの計画を具体的に実行に移して参ります。
	【方策】上記計画に基づき、団体誘致、ECサイトを利用した売店販路の拡充、業務の簡略化・優先度の整理等を行ってまいります。
所管課	【評価及び関与のあり方】動物公園リニューアル後、入園料をはじめ物販収入等、多方面から収益を確保すべく様々な取組を行っている。令和6年度に策定した5か年の経営計画を着実に実施すること、各取組が収益に結びついたか具体的な効果検証を行うこと、効率的な事業実施を期待する。また、施設としての魅力向上を図るため、所管課からは引き続き動物調達等の支援を行う。

(3) 経営管理の仕組み

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 組織管理	1	組織構造は経営環境の変化に応じて定期的に見直しされている。	<input type="radio"/>	
	2	組織を機能ごと、または事業ごとに分け、役割を明確にしている。	<input type="radio"/>	
	3	部門ごとの連携が円滑に行われる組織体制になっている。	<input type="radio"/>	
	4	異なる業務間の配置転換、権限委譲等により組織の活性化を図っている。		<input type="radio"/>
2 コスト管理	5	事業別、業務別など、個別の事業内容に関するコスト分析を実施している。	<input type="radio"/>	
	6	コスト分析の結果が、経営計画や事業内容へ反映される仕組みとなっている。	<input type="radio"/>	
3 顧客満足度	7	定期的に顧客満足度調査を実施している。	<input type="radio"/>	
	8	顧客満足度調査の結果を分析し、分析結果を経営に適切に反映させる仕組みとなっている。	<input type="radio"/>	
	9	顧客満足度調査の結果を分析し、顧客のニーズを把握している。	<input type="radio"/>	
	10	顧客のニーズを分析し、その結果を踏まえて改善努力をしている。	<input type="radio"/>	
	11	中長期経営計画や年次事業計画に顧客のニーズを反映させている。	<input type="radio"/>	
4 職員の 人材育成・能 力開発	12	業務に必要な知識を身につけるための職員研修や派遣を実施している。	<input type="radio"/>	
	13	研修等により、実際に職員の能力・技術が向上している。	<input type="radio"/>	
	14	職員が法人の活動に関わりのある資格を取得している。	<input type="radio"/>	
	15	職員が研修で得たノウハウを、他の職員も共有している。	<input type="radio"/>	
	16	必要に応じ、専門知識を有する外部の人材を活用(職員として採用、指導や助言を受ける、など)している。	<input type="radio"/>	
	17	人材育成や能力開発を中長期経営計画等に盛り込んでいる。	<input type="radio"/>	
	18	経営陣は、人材育成や能力開発に積極的に関与し、かつ自らも学習し取り組んでいる。	<input type="radio"/>	
5 業務執行体制	19	決裁などの日常業務の意思決定や事務分掌、現金管理等、業務上の必要な規定が適切に整備されている。	<input type="radio"/>	
	20	理事会、取締役会をはじめとした業務執行体制が関係法令等に基づき適切に整備され、実質的に機能を果たしている。	<input type="radio"/>	
	21	経営上重要な意思決定は、理事会(取締役会、株主総会)の決議により行っており、必要に応じて迅速に開催できる体制が整っている。	<input type="radio"/>	
	22	監査の指摘事項に対して、改善策を実施している。	<input type="radio"/>	
	23	財務状況は、年度途中に定期的(必要があれば随時)に経営陣に報告する仕組みがある。	<input type="radio"/>	
6 情報公開	24	法人の財務状況や事業成果を積極的に外部に公表している。		<input type="radio"/>
合計			22	2

・評価コメント

経営管理の仕組みについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] これまでリニューアル開園に注力し、その後の経営を軌道に乗せることに注力してきたため、目標に向かって組織一丸となってあたっていく体制づくりは後回しになっていたことについては否めないところです。
	[方策] コンサルと契約し、外部の意見を取り入れて組織改革を図っております。スタッフ全員との会議を毎月実施し、経営に関し目標共有を実施しております。また、顧客満足度を向上するための各種研修は既に実施して来たところですが、改めてその成果をフィードバックする体制を整えて参ります。
所管課	[評価及び関与のあり方] 会社設立後、質の高い飼育や顧客満足度のための人材育成を行ってきた。併せて、令和7年度から毎月、役員・スタッフ全員で各部門の運営状況(収支含む)の共有を行う取組を開始している。今後も各取組を継続し、組織一丸となっての目標達成や収益確保に繋げることを期待するとともに、所管課から他団体の取組の情報共有等を適宜行っていく。

(4) 財務状況

項目番号	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 財務状況	1	債務超過になっていない。	<input type="radio"/>	
	2	自己資本が十分に確保されている。	<input type="radio"/>	
	3	借入金に依存しない資金運用を行っている。	<input type="radio"/>	
	4	市からの補助金の交付はない。または市に対する収入依存度は改善の傾向にある。	<input type="radio"/>	
		令和5年度決算において単年度黒字である。	<input type="radio"/>	
		令和6決算において単年度黒字である。		<input type="radio"/>
		令和6決算において減価償却前黒字である。		<input type="radio"/>
	5	累積欠損金がない。	<input type="radio"/>	
	6	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。 ※この設問は、前の問で「いいえ」と答えた場合のみ回答してください。		
	7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。 ※この設問は、前の問で「いいえ」と答えた場合のみ回答してください。		
合計			6	2

・評価コメント

財務状況について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課との関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] 令和6年度が赤字となった理由は、令和5年度のリニューアル開園の反動減に加え、書き入れ時に悪天候が重なり来園者が伸びず、利用料金が減少したこと、物価高騰などにより家計が教養娯楽サービス関連支出を減少させたことなどによるものと考えております。
	[方策] 既にSNS等による発信を行い、高い効果を得ているところではありますが、よりいつそう動物の魅力の発信を強化し、来園動機を喚起していきます。 また地域の連携を強化し、リピーターや団体来園を促進する方策を打って行きます。具体的には冬季子ども無料開放デーの設定、団体及び旅行会社向けパンフレットの作成・配布などを進めています。商品販売においては、インターネット通販を強化し、天候に影響されない体质を目指してまいります。
所管課	[評価及び関与のあり方] 屋外施設のため、天候不順による入園料収入の減はやむを得ないものと推察する。収入に応じた事業運営と施設としての魅力向上の両立を期待する。リピーターや団体客等の確保のための方策実施については、所管課として情報提供等の協力を行う。

(5) 活動成果

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 成果指標	1	各業務について、成果指標が数値で具体的に設定されている。	<input type="radio"/>	
	2	法人の設立目的と連動した指標となっている。	<input type="radio"/>	
	3	事業ごとに数値目標を設定している。	<input type="radio"/>	
	4	指標や目標は、類似の事業を行う他の団体(他の地方自治体の出資等法人など類似団体、民間企業、非営利団体等)の動向を踏まえて設定したものである。		<input type="radio"/>
2 活動成果の評価と公表	5	主要な成果指標について良好な水準を保っている、または改善の傾向にある。		<input type="radio"/>
	6	成果指標の達成度について定期的に検証が行われている。	<input type="radio"/>	
	7	法人の活動成果について、外部委員等による定期的な点検・評価が行われている。	<input type="radio"/>	
	8	活動成果をホームページ等の媒体を使って住民に公開している。	<input type="radio"/>	
合計			6	2

・評価コメント

活動成果について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] 成果指標・目標数値等については職長級のスタッフ会議を毎週実施することにより、その浸透・点検・評価・改善を行ってきたところです。
	[方策] 上記に加え、全スタッフを対象とした定例会を毎月実施し、全社的な成果と課題の共有化を図っております。また個人面談を職長級と取締役の2段階で実施し、目標、成果についてフィードバックを図る規定を整備し、施行しました。
所管課	[評価及び関与のあり方] 組織内での目標・成果等の共有は図られている。所管課として適宜助言等を行う。

(6) 経営内容に関するその他の特記事項

出資法人
当社は令和2年に旧盛岡市動物公園の再生を目的として設立され、令和5年に盛岡市動物公園ZOOMOとしてリニューアル開園を果たしたところです。 盛岡市動物公園は屋外施設であり、その収益は天候条件に大きく左右されます。近年は地球温暖化の影響により日本の気象も不安定になってきており、令和6年度はその影響が直撃した格好になっております。これまで外的要因に左右されない強靭な内部コンテンツの構築を試みて参りましたが、よりいっそうの努力を要求されているものと考えます。 また、令和元年にその主要部分の設計がなされた動物公園再生事業の開始以降、ロシアのウクライナ侵攻・新型コロナウイルスの流行・中東危機・燃料費高騰・最低賃金の上昇等情勢が著しく変化ってきており、事業スキームを見直す時期に来ているものと思料されます。

3 市による総合評価

リニューアル後、社会教育施設として質の高い展示・情報発信を行っており、市の社会教育に貢献している。運営する施設の特性上、天候不順に加え、社会情勢や人口構造の影響を直接的に受けるため、法人には多方面からの収益確保を図る取組実施を期待すると共に、長期的に安定した運営を行うための助言を適宜行っていく。
--